

(公財) 日本体操協会

平成29年度第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成30年3月25日(日) 13時00分～14時10分

2. 場 所 フォーラム エイト 662会議室

3.出席者 <評議員>

出 席

大島斎礼、加藤澤男、瀧澤康二、長谷川輝紀、鷹西美佳、林 直樹
柳善二郎、長澤稔子、崇島慎一、慶野峰晴、大橋英記、藤田正敏、
渡邊一郎、渡辺栄一、望月克己、竹谷 一、白石伸三、知念義雄

18名

欠 席

早田卓次、小篠弘子、森 令子、山岸弘宜

4名

<理事・監事>

出 席

二木英徳会長、塚原光男副会長、具志堅幸司副会長、
山本宜史専務理事、竹田幸夫監事

5名

4.資料の確認

審議事項

第1号議案 定款変更の件(顧問の人員)

第2号議案 その他

報告事項

第1号 2018年度予算について

第2号 パルクール委員会新設について

第3号 2020年アジア選手権大会立候補について

第4号 2023年世界体操選手権大会立候補について

第5号 2023年世界体操選手権大会特定資産扱いについて

第6号 2018年世界選手権大会選考について

第7号 その他

5.権限審査

定款第5章評議員会第24条（定足数）に基づき本評議員会は評議員22名中、本日の出席評議員18名のため、評議員会開催の定足数（過半数）に達していることを渡邊事務局長が報告した。

6.議長選出

定款第4章第16条(評議員会議長)の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が議長に選出された。

7.議事録署名人

定款第5章第26条（議事録）に基づき、議長の瀧澤康二並びに大島斎礼・林直樹評議員の3名を議事録署名人に指名し、異議なく承認された。

8.審議事項

第1号議案 定款変更の件（顧問の人員）

議長の指名により、山本宜史専務理事は資料の説明を行った。

まず、経緯として、公益財団法人移行申請時に、定款について、内閣府の助言指導により、役員（評議員・理事・顧問）の減員が指示され、顧問については若干名ということで、定款を制定した。

平成29・30年度役員改選に当たり、顧問の見直しを行ったところ、当協会に過去に貢献されている諸先輩に対し、若干名に限定することは、甚だ、失礼に当たるとのことで、本人の辞退者を除き、ほとんどが、留任となり、26名となった。

このことから、定款の文言である若干名とある表示を削除したいという提案である。（第44条）

変更前：この協会に顧問を若干名おくことができる。

変更後：この協会に顧問をおくことができる。

施行日：評議員会決議日とする。

以上の山本専務理事の説明を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

議長は、第1号議案の承認採決を議場に諮り、全員異議なく承認。

第1号議案は原案どおり、承認・可決された。

第2号議案 その他

議長は、議場に審議事項について、何か提案事項があるか確認したところ、提案議題がなかったため、審議事項は以上で終了し、報告事項に移った。

9.報告事項

第1号 2018年度予算について

渡邊事務局長より、事前資料に則り、下記の説明を行った。

①予算規模 単位：千円

区分	2018年度	2017年度	増減
経常収益	1,401,550	1,214,566	188,534
経常費用	1,104,922	873,468	231,454
管理費	159,157	157,117	2,040
収支計	137,471	183,981	▲44,960
特定費用	100,000	150,000	
収支	37,471	33,981	

2017年度 実績推定値概算 85,000 を見込む

②会計区分別収支状況 単位：千円

	公益会計	収益会計	法人会計	合計
収入	893,290	508,260		1,401,550
支出	1,058,722	46,200	159,157	1,264,079
収支	▲165,432	462,060	▲159,157	137,471

③強化本部別の予算状況 単位：千円

	収入	費用	収支
体操男子	91,080	120,804	▲29,724
体操女子	112,860	130,678	▲17,818
新体操	115,000	140,843	▲25,843
トランポリン	93,740	111,222	▲17,482

④その他委員会別予算、収益会計、法人会計、戦略経費、特定費用準備資金

課題、収支予算書等の説明を行った。

席上、大島評議員より、下記３点の意見・感想が表明された。

- ①体操男子強化本部予算が他の強化本部と比較して少ないが、問題ないか？
- ②アクロ体操は 13 名の登録人口しかいないが、海外派遣等も必要だが、強化、普及が、優先課題ではないか？
- ③埼玉県におけるトランポリンは非常に活動している。底辺のレクリエーション用とか、活発に活動している。

塚原副会長から、体操男子については、ジュニアを含めて、問題ないとの意見表明。
アクロについては、山本専務理事より、ご指摘の点を参考に今後の展開に生かしていく。

第２号 パルクール委員会の新設について

山本専務理事より、下記の説明を行なった。

(経緯)

- ・ F I G は昨年 5 月の評議員会にて、若者に人気を得て、急速に発展しているアーバンスポーツの「パークール」を I O C の要請もあり、F I G 正式種目として決定した。
- ・ 2024 パリ大会より、オリンピック種目に追加するための推進活動として「2018 F I S E 広島大会」を鋭意、4 月 6 日から 8 日開催に向けて準備中。

1. 推進体制

委員長 島田 善

副委員長 針谷和昌（事業委員会副委員長）

委員 荒本英世（競技担当）、安倍賢司（強化担当）、女性（普及担当）検討中

2. 推進内容

競技関係：ルール、大会規程、審判等

強化関係：代表選考方法、コーチ、トレーナー、指導者等

普及関係：登録、事業、広報等 各計画作成からシステム作り

3. 推進日程

4 月 1 日 発足、4 月 6 日～8 日 F I S E 広島大会

一般社団法人日本アーバンスポーツ支援協議会（J U S C）

山本専務理事、針谷副委員長 理事就任
一般社団法人アーバンスポーツ組織委員会
渡邊事務局長 理事就任

両法人とも 2018 年 1 月 16 日設立総会、監事に当協会の竹内秀幸税理士が就任。

席上、長澤評議員より、下記意見の表明がなされた。

- ・パルクールについてネット検索等で見ると、危険な動画もあるので、これらを含めて安全対策等にも意を注いで、充分留意して貰いたい。

更に、加藤評議員より、I O C，F I Gに対し、将来、パルクールがオリンピック種目に採用に当たり、体操・新体操等の役員・選手団の人員に影響がないように配慮をお願いしたいとの要望意見があった。

第 3 号 2020 年アジア選手権大会立候補について

山本専務理事より、下記の説明を行った。

立候補案件	2020 アジア選手権大会（体操・新体操・トランポリン）
開催期日	2020 年 5 月 1 日～10 日（予定）
開催場所	東京・有明体操競技場（予定）
開催理由	①2020 年 5 月のアジア選手権大会は、2020 東京五輪の予選を兼ねている重要な大会であり、地元開催により、出場資格獲得を有利に進める ②東京五輪のスタッフの最終テストの場としての機会を準備
概算予算	約 1 億円規模

第 4 号 2023 年世界体操選手権大会立候補について

山本専務理事より、下記の説明を行った。

立候補案件	2023 年第 52 回世界体操選手権大会
開催期日	2023 年 10 月
開催場所	東京（未定）
開催理由	①東京五輪後も体操競技のムーブメント継続 ②世界選手権放映権テレビ朝日の全面協力と体操アピール
概算予算	約 8 億円

第5号 2023年世界体操選手権大会特定資産扱いについて

渡邊事務局長より、下記説明を行った。

「特定資産等規程」に基づき、次の大会を特定資産扱いとする。

大会名称：2023年世界体操選手権大会

大会期間：2023年10月（詳細日程未定）

開催場所：東京 会場未定

活動期間：2017年度より2023年度

積立限度額：7億円程度。毎年1億円ずつ、積立

第6号 2018年世界選手権大会選考について

山本専務理事より、各種目の選考方法が決定したことが報告された。

各種目の選考方法は概ね下記のとおりとなる。

6-1.体操男子：第48回世界体操競技選手権大会（カタール・ドーハ）

下記の選考方法にて5名の代表選手を選出する。

- | | |
|-------------------------|----|
| ①個人総合上位者 | 2名 |
| ②チーム貢献得点選出者A（個人総合5位以内） | 1名 |
| ③チーム貢献得点選出者B（個人総合12位以内） | 1名 |
| ④チーム貢献得点選出者C | 1名 |

チーム貢献得点選出者は個人総合選出者2名と組み合わせた時、チーム総合得点（5選手のベスト3）が最大となる選手3名を選出する。

6-2 体操女子：第48回世界体操競技選手権大会（カタール・ドーハ）

- ・個人総合で代表選手6名を選出。
- ・下記対象競技会の個人総合得点を合計した上位者
 - ①第72回全日本個人総合選手権（予選）
 - ②第72回全日本個人総合選手権（決勝）
 - ③第57回NHK杯

6-3 新体操：第36回世界新体操選手権大会（ブルガリア・ソフィア）

《団体》フェアリージャパンPOLAを日本代表チームとする。

（出場メンバーは、強化本部長、ヘッドコーチで原案作成する）

《個人》個人選手2枠は、特別強化選手（皆川、喜田）を日本代表選手とする。

残り 1 枠は日本代表選考会(4/21-22、高崎アリーナ)の 1 位選手とする。.

6・4 トランポリン男女：第 3 3 回世界トランポリン選手権大会（ロシア・サンクトペテルブルグ）

一次選考会として、5/19-20「全日本年齢別選手権」

最終選考会として 6/29-30「全日本種目別選手権」

■男子 決勝の「第 2 自由演技」の順位で選考 5 名

■女子 予選の第 1 自由・第 2 自由＋決勝の第 2 自由のトータル得点 5 名
・男女とも派遣標準得点に達していない選手は、派遣を見送る。

【タンブリング・ダブルミニトランポリン競技】

最終選考会 6/30-7/1 第 5 回全日本タンブリング、ダブルミニトランポリン競技
年齢別大会

予選の第 1・第 2 パスの合計得点にて選考、最大上位 4 名を日本代表に決定。
派遣標準得点に満たない場合は、派遣を見送る。

議長は、すべての議案の終了を確認し、14 時 10 分閉会を宣言した。

平成 30 年 3 月 25 日

議 長 瀧澤 康二

議事録署名人 大島 斎礼

議事録署名人 林 直樹